

施策番号	施策名	予算額(百万円)	
231	医療提供体制の整備	19,272	
【2010年度の目標】 県内どこで生活していても、また救急時においても患者本位の医療提供体制が整備されています。			
項目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
特定地域遠隔画像診断システム導入医療機関数	12機関	18機関	18機関 (42機関)
救急救命士配置率	18.7%	38.1%	52% (100%)
高規格救急車配備率	21.8%	26.4%	46% (100%)
医薬分業率(外来患者)	14.7%	26.7%	50% (70%)
骨髄バンク登録者数	1,201人	1,943人	2,300人 (4,200人)

これまでの取組

これまで医療提供体制は「三重県保健医療計画」に基づき整備を実施してきました。平成12年度の病床の整備状況は、北勢と東紀州の医療圏ではほぼ必要病床数と一致しており、中勢医療圏で過剰、南勢志摩医療圏で不足しています。地域較差は認められるものの医療提供体制は、量的にはある程度の水準に達してきました。

また、救急医療やへき地医療、災害医療や難病対策等についても種々の施策を実施しており、三重県の医療提供体制としては着実に充実してきました。

この他、若者(特に高校生)へ献血を理解してもらうため普及啓発とともに、県内医療機関が必要とする血液製剤等を確保するため献血推進を図りました。

救急救命士養成については、12年度前期合格者11名、後期予想11名の計22名で、累計138名の成果予想であり、また、高規格救急自動車では、12年度4台で累計27台の成果がありました。

平成13年度の取組

平成13年度には、県としてあるべき医療体制の実現に向け、医療機関相互の役割分担や協力・連携体制の基礎となるかかりつけ医を推進するためのモデル事業を実施します。また多様化する医療需要に対応するため、高度医療機器の整備や難病対策、臓器移植等を推進します。

また、高校生に対する高校生による献血サポーター制度、マスメディア等を通じた啓発活動を実施し、高校生等の若年者に献血の啓発を行うほか、輸血の安全性向上とすべての血液製剤の国内自給を早期に達成するため、400ml献血と成分献血の推進を図ります。

近年特に需要の高い救急医療については、市町村・一部事務組合が行う消防施設等整備(高規格救急自動車購入等)に係る経費について、補助を行い、地域の消防・救急体制の充実を図ります。

県立病院に関しては、平成13年度が「三重県病院事業経営健全化計画」の最終年度であることから「同推進プラン」に示された約250の改善項目を着実に実施することにより、機能の健全化と収支の健全化(4病院で収支の均衡を図る)の目標を達成し、良質で満足度

の高い医療サービスを提供します。

主な事業

- 1 (新) かかりつけ医推進試行的事業 (5,956 (2,978) 千円)
【(101)患者本位の医療の推進事業】〔健康福祉部〕
地域住民にかかりつけ医の普及啓発を行い、相談窓口の設置やかかりつけ医の紹介体制を整備することにより、医療機関の役割分担や連携を促進し、地域に密着した包括的な医療の充実と在宅医療の推進を図ります。
- 2 (新) へき地中核病院施設設備整備事業への助成 (52,500 (26,250) 千円)
【(201)地域医療体制の充実と相互の連携事業】〔健康福祉部〕
へき地中核病院の施設設備整備に必要な経費に対して補助を行い、地域医療の充実並びに無医地区、無診療所の実質的解消に努めます。
- 3 (新) 過疎地域等特定診療所施設・設備整備事業への助成 (27,655 (13,828) 千円)
【(201)地域医療体制の充実と相互の連携事業】〔健康福祉部〕
過疎地域に設置する歯科等特定診療所の設置及び設備整備の経費に対して補助を行い、過疎地の特定診療科の医療を確保します。
- 4 高度医療機器の整備 【(301)三重県病院事業】〔病院事業庁〕
診療機能の充実・強化のための機器整備 (CT装置等) [総合医療センター] (317,962(26,356)千円)
脳神経外科の新設等に伴う機器整備 [志摩病院] (163,164(28,257)千円)
- 5 病院群輪番制病院運営事業 (162,506 (81,254) 千円)
【(401)救命救急医療体制の充実事業】〔健康福祉部〕
休日夜間急患センター、在宅当番医制等の初期救急医療施設及び救急患者搬送機関との円滑な連携体制のもとに、休日夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するため、休日夜間の入院治療可能な施設を確保します。
- 6 消防施設等整備への助成 (66,998 (66,998) 千円)
【(401)消防力向上支援事業】〔地域振興部〕
市町村・一部事務組合が行う消防施設等整備 (高規格救急自動車購入等) に係る経費について、補助を行い、地域の消防・救急体制の充実を図ります。
- 7 高校生献血推進事業 (8,299 (4,150) 千円)
【(602)献血推進事業】〔健康福祉部〕
高校生に対する高校生による献血サポーター制度、マスメディア等を通じた啓発活動等を通じて高校生等の若年者に献血の啓発を行います。

主な見直し項目

「医薬分業普及促進事業」は、一定の成果を得たため、同種事業において普及啓発を実施することとして廃止。

「高次救急医療機能整備促進事業」は、事業の進め方の見直しにより休止。

「休日登録推進キャンペーン事業」は、総合的なドナー登録の啓発を図るため「骨髄バンク事業」に統合し、総合的なドナー登録の普及啓発を図る。